

## 入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成 26年 4月 21日

支出負担行為担当官  
国立療養所栗生楽泉園  
事務部長 石川 武志

### 1 競争入札に付する事項

- (1) 工 事 名 国立療養所栗生楽泉園汽缶等更新整備工事
- (2) 工事場所 群馬県吾妻郡草津町大字草津乙647番地
- (3) 工事内容 汽缶（炉筒煙管ボイラー10t撤去、小型貫流式ボイラー2t4基設置）
- (4) 工 期 契約締結日の翌日から平成26年11月14日まで
- (5) 本工事は、「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- (6) 本工事は、簡易な施工計画等の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型）の工事である。
- (7) 本工事は、資料提出、入札等を紙入札方式で行う。

### 2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。  
なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同70条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 厚生労働省における関東・甲信越ブロック「管工事」において「A又はB等級」の一般競争参加資格の認定を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、関東・甲信越ブロックの一般競争参加資格の再認定を受けていること。）
- (3) 会社更生法に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者、又は民事再生法に基づき再生手続き開始の申立てをした者（上記（2）の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 平成10年度以降に、元請として完成・引渡し完了した下記の要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。また、施工実績は施工中のものを除く。）  
なお、当該施工実績が厚生労働省及び他省庁が発注した工事のうち500万円を超える請負工事に係る施工実績にあつては、「工事成績評定表」の評定点合計が65点未満のものを除くこと。  
(ア) 汽缶設備の更新（新設も可）

- (5) 次に示す事項に対する簡易な施工計画等の技術的所見が適正であること。
  - (ア) 品質管理に対する技術的所見
  - (イ) 安全管理（資機材搬入など）に対する技術的所見
- (6) 次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。
  - (ア) 1級管工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。
  - (イ) 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。
- (7) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、厚生労働省医政局国立病院課長から工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（平成21年4月1日付医政医療発第0401032号）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係に該当する者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。
- (10) 群馬、埼玉、長野、栃木県、東京都内に管工事業に係る建築業の許可を受けた本店、支店その他の営業所が所在すること。
- (11) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、厚生労働省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (12) 次の事項に該当する者は、競争に参加できない。
  - (ア) 資格審査申請書又は添付書類に虚偽の事実を記載した者。
  - (イ) 経営の状況又は信用度が極度に悪化している者。
- (13) 入札時において厚生労働省から指名停止を受けている期間中ではないこと。

### 3 総合評価落札方式に関する事項

#### (1) 総合評価落札方式の仕組み

本工事の総合評価落札方式は、標準点100点（入札説明書に示された内容を満たしている場合に付与する点数をいう。）に加算点15点（2（5）に関する提案（以下「技術提案」という。）など以下に示す評価項目に応じて付与する点数をいう。）を加え、評価値を算出し落札者を決定する方式とする。

その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

#### (2) 評価項目

評価項目：以下に示す項目を評価項目とする。

- (ア) 技術提案（簡易な施工計画）に関する事項
- (イ) 施工能力に関する事項
- (ウ) 企業の技術力に関する事項
- (エ) 技術者の能力に関する事項
- (オ) 地域精通度・地域貢献度に関する事項
- (カ) 工事信頼度に関する事項

#### (3) 評価の方法及び落札者の決定

入札参加者の技術提案等による評価項目（評価指標）を評価し、  
評価値＝{(標準点＋加算点)／(入札価格)}の最も高い者を落札者とする。  
落札の条件は、次のとおりとする。

(ア) 入札価格が予定価格の制限範囲内であること。

(イ) 提案内容が発注者の設定している最低限の要求要件を下回らないこと。

また、最低限の要求要件である標準点を予定価格で除した数値（以下「基準評価値」という。）を下回らないこと。

(4) 上記(3)において、評価値の最も高い者が2人以上ある場合は、当該者にくじを引かせて落札者を決定する。

#### 4 入札手続等

##### (1) 担当部局

〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津乙6 4 7 番地  
国立療養所栗生楽泉園 会計課 施設管理係 田野 光春  
電話 0279-88-3030

##### (2) 入札説明書の交付期間、場所及び方法

平成26年4月21日(月)から平成26年5月8日(木)

上記(1)の場所において配布する。交付に当たっては実費を請求する。

##### (3) 申請書及び資料の提出期間、場所及び方法

平成26年4月22日(火)9時から平成26年5月8日(木)17時までに  
上記(1)の担当部局に持参すること。ただし発注者の承認を得た場合は電子  
メール、又は郵送する(書留郵便に限る。提出期限内必着)こと。

##### (4) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、平成26年5月27日(火)10時までに上記(1)の場所に提出す  
ること。

開札は、平成26年5月27日(火)10時 国立療養所栗生楽泉園会議室に  
て行う。

#### 5 その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。

##### (2) 入札保証金及び契約保証金

(ア) 入札保証金 免除。

(イ) 契約保証金 免除。ただし、付保割合を10分の3以上とする公共工事履  
行保証証券による保証(かし担保特約を付したものに限り)を付すこと。

##### (3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書、資料及び技術提案  
書に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効  
とする。

##### (4) 落札者の決定方法

落札者の決定は、競争参加資格の確認がなされた者の中で上記3(3)の評価  
方法で決定するものとする。なお、具体的には入札説明書による。

但し、落札者となるべき者により当該契約の内容に適合した履行がなされない  
おそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引

の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最も評価値が高い者を落札者とすることがある。

(5) 配置予定監理技術者の確認

落札者決定後、CORINS等により配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、申請書の差し替えは認められない。

(6) 専任の監理技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、監理技術者とは別に監理技術者と同一の資格（工事経験を除く）を満たす技術者の配置を求めることがある。

(7) 手続きにおける交渉の有無 無。

(8) 契約書作成の要否 要。

(9) 当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無。

(10) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4（1）に同じ。

(11) 一般競争参加資格の決定を受けていない者の参加

上記2（2）に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記4（3）により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(12) 技術提案等の内容についてのヒヤリングは原則として行わない。なお、ヒヤリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(13) 本件は、提出資料及び入札を紙で行うものであり、対応についての詳細は入札説明書による。